

令和3年度 事業所自己評価結果の公表

公表：令和4年3月31日
アンケート期間：令和4年 2月 22日～令和4年 3月 7日

保護者等からの事業所評価の集計結果

保護者等数(児童数) 13名

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースは十分に確保されていますか。	10	3		
	2 職員の配置数や専門性は適切ですか。	12			1
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっていますか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていますか。	11			2
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていますか。	10	1		2

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていますか。	13			
	6 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていますか。	13			
	7 個別支援計画に沿った支援が行われていますか。	13			
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されていますか。	13			
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がありますか。	4	1		8

事業所における自己評価結果および改善内容・改善目標

回答職員数 5名

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		お子さんの動きに違和感があったらすぐに周りの職員に相談、環境設定の見直しを行なっている。また、変更があった際はすぐに日報やホワイトボードにて共有している。	コロナウイルス蔓延に伴い、お子さんの衛生面での安全配慮と特性に合わせた設定を相互的に叶えることが部屋の関係上難しい。一部屋全体の使い方の見直しを行う。おもちゃなど増えて棚の上に積んでいってしまうので、収納を工夫したい。
	2 職員の配置数は適切である	5		アルコールで消毒したり拭いたりして清潔に保つよう心がけている。	玩具が増えがちなので収納がいっぱいになってしまふ。探しにくい安全面でも不安があるので適宜入れ替えるなどして整理をしたい。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5		収納場所を工夫し、子どもたちに必要な玩具などが出し入れしやすきようにした。身支度の動線を検討し、都度バージョンで区切るなど工夫した。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5			
業務 改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	2		
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		月次以外に、業務日報にてお子様の対応についての更新をこまめに行なっている。	常勤の全体研修以外にも教室内でケース会議や活動のモニタリングを客観的に振り返る時間を作る。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1	変更事項が分かりやすいよう、必要場合は室内に掲示をしている。	
	8 職員の資力の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1		

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成している	5			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3			
	11 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		活動内容のマンネリを防ぐため、さまざまな活動内容を設定するグループと振り返りの中ですしずつ理解を深めていくグループで内容の決め方を変えている。	非常勤スタッフが対応方法を把握していない場合を想定しての指示出しを含むロールプレイを行えるようにする。
	12 個別支援計画に沿った支援が行われている	5		やりたいと思った活動は試作やスタッフが実際にゲームをするなどの時間を設け進め方や手順などを常勤間で頻繁に検討している。	アセスメント項目の統一化をして、どの教室でも内容の質を担保できるようにする。
	13 活動プログラムの立案をチームで行っている	5		業務日誌で振り返り、ヒヤリハット、明日以降の引き継ぎを共有している。	子どものタイプに幅があり、どういったアセスメントツールを使っていくか全教室で検討し統一したほうがよいと思う。
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		集団活動でも個々のレベルに応じてねらいを変えることを職員間で相談して行なっている。	
	15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成している	5			
	16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			
	17 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5			
	18 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			
	19 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	4	1		
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1		
	21 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	1		
	22 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		関係機関から連絡があった際、可能な方法で共有や連携を図っている(コロナ感染リスクを考慮した方法で)。	コロナウイルス蔓延防止のため他機関との連携が来年に比べてより希薄だった。情報共有のやり方を上げた。
	23 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		連絡帳やハグシステムで連絡があった際にはスタッフ間で読み上げや伝達を行い、どのスタッフもその日の利用児の特記について周知している状況にしている。	保護者向けのペアレントトレーニングの研修が実施できていない。
	24 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5		連絡帳に具体的な様子を表記し、フィードバックの際に可能な限り動画や写真などを活用しわかりやすく様子をお伝えしている。	
	25 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5		動画や写真などを用い日中の様子を見せながらできていること、課題について説明している。	
	26 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加している	5			
	27 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			
	28 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	2	3		

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされましたか。	12	1		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされましたか。	12	1		
	12 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	13			
	13 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていますか。	11	2		
	14 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等、保護者同士の連携が支援されていますか。	6	3		4
	15 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12			1
	16 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていますか。	12	1		
	17 定期的におたよりやホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果等を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	2		
	18 個人情報の取り扱いに十分注意されていますか。	10			3

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
非常時等の対応	19 防犯対策、感染症予防、非常災害時対応方法について、保護者に周知・説明されていますか。	11	2		
	20 新型コロナウイルス感染症対策は徹底されていましたか。また、緊急事態宣言発令時の対応について等、不安はありませんでしたか。	11	2		
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか。	12			1

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしていますか。	9	3	1	
	23 事業所の支援に満足していますか。	13			

〇この「保護者等からの事業所評価の集計結果」は、保護者等の首様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明等	29 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			
	30 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ている	5			
	31 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			
	32 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			
	33 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5	電話での相談に即時対応し、返答や助言だけでなく、教室での対応方法について検討している。 また、対応した後は保護者に詳細に意図を説明したりそれに対するお子様の様子や今後の方針について相談、提案し合意の上で保育にあたるようにしている。	コロナの蔓延もあり、保護者同士の開けが作れそうなきっかけが提供できなかった。できる方法を検討したい。 保護者会や参観が開催できていない。オンラインなど方法を検討していきたい。
	34 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5			
	35 定期的におたよりやホームページ等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			
	36 個人情報の取扱いに十分注意している	5			
	37 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			
	38 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4		

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	39 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5			
	40 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			
	41 新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、新しい生活様式に対応した活動内容・支援方法について日々工夫しながら取り組んでいる	5		さまざまなスタッフが緊急事態の動きに対応できるよう、様々な役割を変えて避難訓練を行っている。	マニュアルの見直しをする機会がないため、マニュアルを最適化できるよう職員会議等で再度読み合わせたり確認したりする。
	42 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5		その都度担当者を決めて、すべての職員が迅速に対応できるよう訓練している。	非常用リュックの中など確認をしていないので、不足がないかなど把握する必要がある。
	43 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5		定期的な避難訓練を行い、避難ルートの検討をした。	
	44 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1		
	45 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		5		

事業所における分析・協議・改善案の検討結果

事業所内での分析	分析・検討してみても…	事業所の改善への取り組み
【保護者様評価・職員自己評価の共通点】 ・適切な支援の提供や工夫はなされている。 ・他園との交流機会はない。 ・保護者会など保護者間の交流はできていない。	事業所の強み ・プログラムの内容に工夫をし、各々に適した設定をしている。 ・日常の様子や課題について保護者と共有できている。	・職員及びといろきつたまブラーザ保育園と協議の上、防犯対策を見直し更新する。 ・災害対策や感染症対策について連絡が必要な場合、早めに検討し公表する。
【保護者様評価・職員自己評価の相違点】 ・環境設定を工夫したり、コロナ対策をしているが、保護者に公表しきれていない。 ・契約内容や支援について説明しているが、わかりにくいと感じる保護者がいるようである。 ・防犯体制はしているが、具体的な内容が保護者に公表しきれていない。	事業所の改善点 ・防犯対策を今一度見直し、検討する。 ・災害対策や感染症対策について連絡が必要な場合、早めに検討し公表する。 ・HUGだけでは周知不足になりがちなので、周知の方法を考えていく。 ・保護者会や参観など開催していく。	・HUGだけでは周知不足になりがちなので、周知の方法を考えていく。 ・保護者会や参観など開催していく。